

1. 背景・目的

エゾシカ生息数増加と捕獲の推進

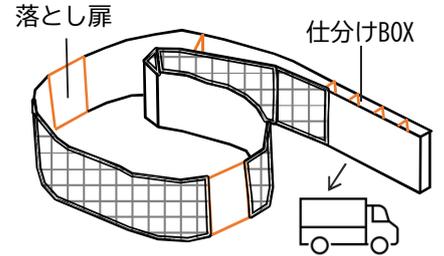
- 管内の白老町・むかわ町とは捕獲連携事業を実施
- 苫小牧市は全面銃猟禁止のため、銃猟以外の方法を検討
- 生きたまま捕獲・運搬し、ジビエとして有効活用を図る

2. 方法

大型囲いわなによる捕獲

↳ 平均的な囲いわなの4倍の大きさ（20頭以上収容可能）

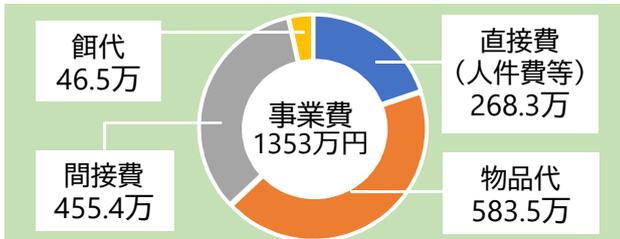
- 餌巻きによる呼び込み
- 定点カメラでの状況確認
- 捕獲生体を養鹿場へ運搬



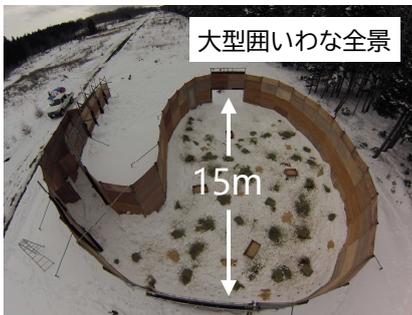
3. 結果

事業名：「令和2年度苫小牧国有林エゾシカ誘引捕獲事業（大型囲いわな等）」

作業期間：12月～3月（毎週金曜日 計8回捕獲）



	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26	3/5	3/11	合計
オス	2	3	0	1	0	5	1	1	13
メス	6	4	6	8	11	3	7	7	52
計	8	7	6	9	11	8	8	8	65



捕獲コスト
21万円
1頭

4. 考察

1頭あたりの捕獲コストが高額…内部のシカが最も多い時を狙い大量捕獲すべきか？

- ケガやストレスによる肉質の低下
- 警戒によるわな侵入個体の減少



- 一度の大量捕獲ではなく、同じ場所で持続的に捕獲



次年度以降の捕獲数・ジビエ利用の減少

次年度以降のわな設置コスト削減

5. 今後の取組

- 推進
- 新たな大型囲いわなの設置
 - 他署・民有林向け見学会の開催
 - 市町への大型囲いわなの貸与

- 検証
- 同一のわなにおける捕獲頭数の推移 → 何年継続して捕獲できるか？
 - 長期的にみた1頭あたり捕獲コスト → 毎年何円ずつ減少していくか？

銃猟ができない地域での安全かつ効果的な捕獲手法を示す